

その認知症の診断は本当に正しいのか?

「高齢者のうつ病を認知症と誤診しているケースが多い」と指摘するのは、くどうちあき脳神経外科クリニックの工藤千秋院長(日本認知症学会認定医・指導医)。それが取り返しのつかない結果を招いていることがある。

高齢者のうつ病が見逃されている

門医以外だと、記憶力テストだけの判断になり、うつ病

「物事を覚えられなくなった」「変な行動・言動が目立つようになった」「ぼーっとするようになった」。認知症を疑

「記憶力、認知症の間題行動、日常生活、高齢者のうつ、MRIなどの画像検査といったよう



放置すると本格的な認知症に移行

近年になって、「高齢者のうつ病を適切に治療しなければ、認知症に至る可能性がある」ということも明らかになってきた。「うつ病の高齢者の中には、症状が認知症と似ている「うつ病性仮性認知症」があるのです。このうつ病性仮性認知症の場

親が認知症と診断された最初の2年半、家に閉じ

怖い薬の飲み合わせ

EDとは、性行為のときに勃起不全に陥る症状を指します。若いときは元気があったのに、中高年になるとEDに悩まされることも少なくありません。

EDの治療薬としては、「バイアグラ」（一般名：シルデナフィル）や「シアリス」（一般名：タダラフィル）が知られています。ただ、こ

れらED治療薬には飲み合わせに注意すべき薬があります。狭心症の薬として多用される「ニトログリセリン製剤」です。

心臓病を治療中 ED治療薬が

ニトログリセリンは血管を拡張させることにより、狭心症の症状を改善させます。そして、ED治療薬も同様に血管を拡張させることによって作用します。E

は心臓の血管ではなく、茎の血管を主に拡張させるのですが、両者とも血管を拡張作用によって効果的なことは同じです。



深部師部つ業療合

め、両者を併用するログリセリンの作用がされ、命に関わるほどの作用が起きてしまいがちです。

もともと、バイアグラは狭心症の治療薬として使われてきた薬です。しかし、床試験が行われた際の症の治療効果は薄かった。しかし、その

こもった」と話している。後に専門医から「初期はまだらばけ。自分から起きていることが分かる。お母さんはそれに戸惑い、苦しんでいるのだ」と指摘され、母親の行動の意味を理解できたという。

医師も家族も「年を取

っているから、認知症と認めるのは間違いないだろ」と思いがちな。しかし本当にそれは正しいのか？ 認知症によるものか？ あるいは、うつ病なのか？ しっかり見極めるために協力できるのは家族しかいない。

えてしまふのでろ。